



★★★★★★ 倉吉パークスクエア 3月の催し物 ピックアップ ★★★★★★

倉吉未来中心 (TEL23-5390/FAX47-0255)、倉吉交流プラザ (TEL47-1181/FAX47-1180)

倉吉未来中心 大ホール

- エネルギア ふれあい講演会
「いつもなにかにときめいていよう」
と き: 3月10日(土) 14:00～15:30
- 第47回 ヤマハたのしい音楽教室発表会
と き: 3月11日(日) 13:00～15:40
- 倉東フィルハーモニー管弦楽団(倉吉東高校オーケストラ部)
第16回 定期演奏会
と き: 3月18日(日) 14:00～16:00
- 倉吉西高等学校音楽部 第21回 定期演奏会
と き: 3月25日(日) 14:00～16:00
- ジョイントコンサート「出発…たびだち」
と き: 3月31日(土) 18:00～20:30
- 夢の軌跡 おかん Live in 鳥取 2012
と き: 4月1日(日) 15:00～17:00

倉吉未来中心 小ホール

- 倉吉東高等学校合唱部 第7回 定期演奏会
と き: 3月4日(日) 14:00～16:00
- 打吹童子ばやし第20期演奏会「MATSURI」
と き: 3月10日(土) 14:00～15:30
- スプリングダンスパーティ
と き: 3月11日(日) 13:30～16:00
- 2011年度中部地区高等学校演劇部合同発表会
と き: 3月18日(日) 13:00～15:30

- Mechaしぶナイト倶楽部 2012
と き: 3月24日(土) 17:00～
- 第9回 バイオリン・ピアノコンサート
と き: 3月25日(日) 13:30～15:30
- 第10回 弦楽フェスティバル
と き: 4月1日(日) 14:00～15:30

倉吉未来中心 アトリウム

- 中部少年少女合唱団MIRAI & ピアノ・ソプラノ
スペシャルコンサート
と き: 3月17日(土) 14:00～15:00
- 第2回 恵華書会 社中展
と き: 3月23日(金)～25日(日)
9:00(初日)～16:00(最終日)

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

- 友部正人ライブ
と き: 3月3日(土) 19:00～

倉吉交流プラザ 第2研修室

- 行政書士無料相談会
と き: 3月18日(日) 10:00～15:00

ふれあい広場

- フリーマーケット「くらよし大市」
と き: 3月25日(日) 9:00～12:00

展覧会・展示会

- 《百花堂》 ■ 山本恵子・秦野のぼる藍染と写真との二人展 2日～8日 ■ MGJフォトクラブ第9回展 10日～14日 ■ NHK鳥取文化センター倉吉水彩画教室展 16日～21日 ■ 砂丘社ミニアチュール展 23日～28日
- 《民藝画廊》 ■ 川崎俊行写真展 5日～11日
- 《ギャラリー藍(ベターライフイダギ)》 ■ 第11回みささ版画の会展 4日～11日
- 《リフレプラザ倉吉》 ■ THE ドラゴン(小谷和上彫刻展) 15日～30日 ■ 企画展・計羽孝之写真展(倉敷の壁) 4月1日～13日

スポーツ

- 《市営武道館》 ■ 鳥取県春季中学校柔道大会 10日
- 鳥取県少年柔道選手権大会 11日 ■ 錬心館空手第5回鳥取地区・近県青少年交流大会 25日
- 《市営ラグビー場》 ■ 第3回鳥取県7人制ラグビー大会 18日 ■ 打吹カップラグビー大会 25日



打吹童子ばやし第20期演奏会

MATSURI

3月10日(土) 13:30開演 (13:00開場)

倉吉未来中心 小ホール

打吹童子ばやし第20期演奏会実行委員会

TEL23-0836 うつぶきどうしばやし 検索

たくさんの方がどうぞ

一打に込めて

応答募集申!! 倉吉市総合政策課

(TEL)2218161 / (FAX)2218144

市立図書館

倉吉市立図書館 ☎ 47-1183/☎ 47-1180
せきがね図書館 ☎/☎ 45-2523

今月のオススメ本

「極北ラブソディ」

海堂 尊／著(朝日新聞出版)

赤字病院の再生を図る世良院長は訪問看護の拡充をかせげ、外科医の今中を極北救命救急センターに派遣する。北海道のドクタージェット構想は実を結ぶのか？



「ノミちゃんのすてきなペット」

ルイス・スロボドキン／作
三原 泉／訳(偕成社)

動物が大好きで家でも飼ってみたいノミちゃん。くま、きりん、ライオン……思いつくのは大きな動物ばかり。



「心の森」

小手鞠 るい／作(金の星社)

父の転勤でアメリカの小学校に転校した少年・響は、ある日、家の裏庭に続く森で不思議な少女に出会う。少女の名前はデイジー。響は彼女の優しさに心ひかれていくが…。

今月の催し物

雑誌のリサイクル市

と き：3月17日(土)午前11時～正午

ところ：関金総合文化センター トレーニングルーム

※持ち帰り用の袋を持参してください。

「まいごの、まいごの、ゴンザレス」

服部 千春／作(岩崎書店)

タクヤは、遊園地にやって来たが、迷子になってしまう。同じく迷子になっていた赤ちゃんカイジュウのゴンザレスと出会ったタクヤは、ゴンザレスのお母さんを探しはじめて…。



3月の開館日 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	
5、12、19、26、29日は休館日 29日は資料整理休館日	④	5	6	7	8	9	10
○おはなしかい(14:00～) 倉	⑪	12	13	⑬	15	16	⑰
◇あかちゃんのおはなしかい(11:00～) 倉	⑱	19	20	21	22	23	24
□むかし話をきく会(14:00～) 倉	⑳	26	27	⑳	29	30	31
△おはなしかい(10:30～) 関							

【お知らせ】3月29日(木)から倉吉交流プラザ 市民交流室(2階)での自習はできなくなりますのでご注意ください。これ以後の自習の場所などについては検討中です。決定次第お知らせします。

倉吉博物館

☎ 22-4409/☎ 22-4415

倉吉博物館講座『くらよしの魅力再発見⑩』

創作文華展体験講座「絵手紙入門～春を描こう～」

絵手紙は、自分の感じたことや心に浮かんだことを伝えたい相手に向けて絵と言葉で描きおくるものです。

手描きの温かみと、描き手の心が色濃く映し出されるところに絵手紙の魅力があります。

講座では、春の草花、野菜などをモチーフに、描き方をわかりやすく解説します。あなたの感じた春を親しい人におくってみませんか。

と き：3月18日(日)午後1時30分～

集合場所：倉吉博物館 ロビー

定員：20人(要申込・先着順)

申込期限：3月14日(水)

参加費：200円

※筆などの道具をお持ちの場合は持参してください。



▲絵手紙 (齋江松童作)

第35回 倉吉市創作文華展

【会 期】3月14日(水)～20日(火・祝)

【部 門】俳画、水墨画、ちぎり絵、切り絵、押し絵、絵手紙、押花絵など

【入館料】一 般：210円、高校・大学生：150円

【表彰式】3月20日(火・祝)午後3時～

展覧会・催し ※考古常設展も開催しています。

・鳥取短期大学 絳研究室修了作品展

会 期：3月23日(金)～25日(日)

・伯耆しあわせの郷「織物教室 20周年展」

会 期：4月1日(日)～8日(日)

【美術常設展】

・菅橋彦と絵日記展

会 期：3月11日(日)まで開催中

今月の休館日のお知らせ

3月5日(月)、12日(月)、21日(水)、26日(月)



被災地復興には、

長くて確かな「絆」が必要

鳥取中部ふるさと広域連合倉吉消防署

山本耕二さん

平成23年3月11日午後2時46分。大地は激しく揺れ、人々の「暮らし」を大津波と火災が容赦なく飲み込みました。

あの東日本大震災から1年がたちます。今回は、震災直後から緊急消防援助隊として被災地支援にあたった消防士に当時の様子と、そこからの教訓を聞きました。



山本 耕二さん

がれきの山の中で

震災から一夜明けた平成23年3月12日(土)の早朝、鳥取中部ふるさと広域連合消防局の11人に総務省消防庁長官から、緊急消防援助隊の派遣命令が下り、山本さんは、その救急隊長に任命されました。被災地がどういふ状況なのか、全く分からない中で、「とにかく東北へ向かえ」という命令でした。

家族へのあいさつもそこそこに出発し、13日(日)深夜に宮城県登米市に到着。14日(月)早朝から南三陸町での救助活動に入りました。

「被災地の様子は、『言葉にならない』としか言いようがありませんでした。辺り一面、がれきの山しかない。鉄骨や建物の基礎以外



▲被災地での捜索活動。小型カメラをがれきに差し込み、慎重に捜した。

は、何も残っていないんです。現実味のない景色でした」

余震が続く中、山本さんたちは、がれきの中に生存者がいないかを慎重に確認して回る作業を続けました。しかし、ついに生存者を見つかることはできませんでした。地元の人に依頼されるのも、亡くなった家族の収容がほとんどだったといえます。

「家族のためにも、いつ、どこで、誰が発見し、どういう状態だったか。できる限り発見した時の状況をしつかり記録しておく必要があります」と語る山本さんの表情からは、つらい作業であったことがうかがえます。しかし、「被災地の人たちは取り乱すことがなく、本当に冷静に行動しておられました」と言います。

「現地で拠点を置いた道の駅津山(もくもくランド)から、現場に向く途中、サイレンの音を聞きつけた地元の人たちがわざわざ沿道に出てきて、頭を下げてくだ

さったんです。私たちの方が励まされました」

「備え」と「訓練」を

援助隊として得た教訓は何かを山本さんにたずねました。

「今回の大震災は、誰にとっても想定外の規模の災害だったと思います。『津波浸水想定区域ここまで』という看板が、何kmも流されていきました。人間の予想をはるかに超えた津波が到来した証拠です。だから、これからは『想定外』を想定した備えが必要だということだと」と日ごろの備えの重要性を強く説きます。

「家具や重い電化製品には、転倒防止(固定用)金具を取り付ける。ハザードマップで避難所などを家族と一緒に確認しておく。そして非常持出袋を用意しておく。これらのことが大切です」

さらに、山本さんが挙げたのが「訓練」の大切さです。地震発生時に何より優先するのは「自分の身を守る」ということです。しかし、とつさにテーブルの下や部屋の隅に身をひそめるのは、なかなか難しいといえます。

「学校や自主防災組織、自治公民館などで啓発や訓練に取り組んでほしいと思います。消防署も地震体験車「グラットくん」を使った講習会などで、地域に積極的に出

向いていきたいと思っています」

最後に、このたびの震災で感じたことを聞きました。

「やはり『絆』の大切さでしょうか。被災地には、何千、何万のボランティアが入り復興を支援しています。しかし、1年経過して、支援のあり方も変わってきています。今、どんな支援が必要なのかを見極め、被災地を支える気持ちをいつまでも忘れずに、心を寄せ続けることが大切だと思います」

これからも、被災地復興のため、太く短い「絆」より、確かで長い「絆」を私たちもしっかり持ち続ける必要があると、山本さんの言葉から感じました。

編集後記

■平成23年県広報コンクールで「市報くらよし」9月号が広報紙(市部)1席に選ばれました。新聞で取り上げていただいたこともあり、お祝いの言葉をたくさんいただきました。「市民」と「行政」の顔が見える広報紙を目指し、これまでたくさんの方を取材させていただきました。市民の皆さんのご協力があったからこそその受賞。本当にありがとうございました(Y.T)

- 倉吉市の人口(基本台帳)
 - 23,763人(← 4)男
 - 26,458人(← 15)女
 - 50,221人(← 19)計
 - 20,452世帯(← 1)
 - 外国人登録者数
 - 70人(← 7)男
 - 167人(← 0)女
 - 237人(← 7)計
 - 199世帯(← 6)
- (H24.1.31現在)